第96回 二科展

NIKA

96TH NIKA ART EXHIBITION

被災地児童作品特別展示
――がんばる僕たち私たち――

会場：六本木・国立新美術館
会期：2011年8月31日～9月12日

参加小学校・保育園

上真野小学校
金房小学校
鳩原小学校
石神第二小学校
南相馬市立なかよし保育園
（北町保育所・よつば保育園・聖愛保育園）

東日本大震災からの復興を願って

被災地児童の作品展示に寄せて

福島県南相馬市教育委員会教育長　青木　紀男

南相馬市は、震災直後の東京電力福島第一原子力発電所の事故により、これまで22の小中学校で学んでいた約6000人の児童生徒のうち、約6割が県内外に区域外就学をしています。現在、本市の30km圏外の四つの小中学校と二つの社会教育施設において2350名が学んでおり、その中には、津波により家や家族を亡くしたり、家族と離ればなれに暮らしたりしている子供も少なからず存在している状況にあります。

こうした折、「子供たちに絵を描くことをとおして元気にしたい」と、社団法人二科会より被災地である本市に児童作品展示のお話をいただきました。芸術団体として、被災地の児童の心のケアや励ましにお役に立てればとの思いから今回の企画になったと伺っております。

このたび、作品制作に取り組んだ上真野小学校、金房小学校、鳩原小学校の児童は、現在一緒の学年学級で学んでおります。7月初旬、二科会の先生方7名に上真野小学校までおいで頂き、直接子供たちに共同制作のご指導をしていただきました。2日間の創作活動及び発表の過程において、子供たちの心に詰まった未曾有の出来事への恐怖、驚き、悲しみ、寂しさなど様々な思いをはき出し、心を解放し、そして将来への希望を持たせてくださいました。

おかげさまで本市の子供たちは元気を取り戻しつつあります。地震、大津波、放射能に伴う心配事は多々ありますが、互いに支え合い、励まし合って生活しております。

二科展においでの皆様におかれましては、この共同制作を通して、被災地の子供たち一人ひとりから発信された「夢」や「希望」を感じ取っていただければ幸甚です。

東日本大震災からの上真野小学校の状況等について

福島県南相馬市立上真野小学校長　寺岡　弘之

二科会の先生方が子ども達の抱えている心の叫びを絵に表す絵画教室を開いてくださることを南相馬市教育委員会から聞き、申し込んだところ快く引き受けてくださいました。

「がんばる僕たち私たち」のテーマのもと上真野・金房・鳩原小学校の2・3・4学年が大きな用紙に心の中にある想いをのびのびと表現しました。2年生は、「いっぱい・夢いっぱい」と「笑顔」、3年生は「七夕に想いを込めて」、4年生は「夢追い祭り」と、二科会の先生方の懇切丁寧な指導の下、目を輝かせながら楽しそうに描いていました。お互いの学年の作品を鑑賞し合うと、「すごいね。」「かっこいい。」「すっきりした。」「夢が叶うといいね。」という声が聞こえてきました。

絵画教室が終わってからの児童達は、胸のもやもやが吹っ切れたかのように声の高さや表情も明るくなり、希望にあふれる姿は今まで以上のものがありました。

このような素晴らしい機会を与えてくださるとともに、国立新美術館に作品を展示下さる事は、児童達にとって、一生涯忘れられないものとなる事でしょう。

東日本大震災災害地支援活動報告

社団法人　二科会

東日本を襲った大地震と大津波、それに伴う原発事故は、筆舌に尽くしがたい大災害をもたらしています。

被災地の支援活動には美術団体である二科会として、子供たちの心身のケアが是非必要と考え、文部科学省発信のポータルサイトの福島県南相馬市の教育委員会と上真野小学校の要請に依り、早速会員7名を現地に派遣し、小学児童に共同制作で思い思いの楽しい大画面を創作してもらい、第96回二科展の会場に展示することにしました。

現地では校長教頭両先生をはじめ、担任の先生も児童と一緒に制作に加わっていただき、広い体育館で子供達は嬉々として、描いたり、色紙を貼ったり、夢中になって作った大画面が完成した時には思わず歓声が上がりました。また小学校での共同制作の後に訪れた南相馬市立なかよし保育園（北町保育所・よつば保育園・聖愛保育園）の子供達の「楽しかった」と交わす元気な声が忘れられません。

展示した作品を観ていただき、逆境にめげず元気に頑張っている児童等の姿に思いを馳せていただければと思います。

この支援活動は、可能な限り継続して、一日も早く復興が成り、人々に静かな日常が戻るように、これからも微力を尽くして行く所存です。

（文責　松室重親）

二科展 会場風景

▲二科展会場に並ぶ児童作品

▲オープニングセレモニー

▲児童作品の前で校長先生を中心に記念写真

▲作品の解説に熱心に耳を傾ける来客者

第96回二科展は約9万人の来場者を迎え盛会のうちに終了しました。特に被災地児童共同制作による大作群は、多くの人に感動を与え、NHKニュース全国放送や新聞等にも取り上げられました。福島県からは沢山の先生方や制作した児童やご家族が会場を訪れて震災を通して生まれた助け合いの精神や、人の心と心の絆の大切さを感じさせてくれました。

「野馬追い・夢追い」

▲「野馬追い・夢追い」二科展展示作品

▲重要無形民俗文化財の相馬野馬追いに思いは熱く、色紙やポスターを使ってみんなで夢を追う

◀上真野小学校にて４年生記念撮影

４年生

東海林琉瑛　菅野玲奈
西山高瑠　會川結佳
渡部絢斗　只野　悠
郡　侑汰　藤澤侑香里
門馬稜介　木幡涼介
齊藤大祐　井戸川明詩
熊坂琢生　紺野龍星
鈴木　陸　海老沢七虹
今村　翼　長谷川冬美
但野眞奈　三浦芽依

「天の川」

◀「天の川」二科展展示作品

３年生

伏見海吏
伏見真凜
遠藤義央
坂本峻平
遠藤大千
酒井恵里
沖沢優希子
齊藤美紗
遠藤瑞季
杉本颯希
石川真里愛
只野　彩
荒　希望
武田あかり
北畑柊也
中野匠真
只野晃章
古内奈美
長谷川奈津美
東田　翔

▲上真野小学校にて３年生記念撮影

▲「天の川」制作風景

▲ 20個の願い星　七夕の日に 完成

「虹」

▲「虹」二科展展示作品

２年生

髙野海斗	小林衿里奈
今村　翔	大橋美咲
阿久津尚哉	青田沙理奈
今野耀也	鎌田一花
半田卓也	佐藤勇斗
笹木颯太	島抜渉吾
遠藤寛真	佐山正貴
髙野さくら	川崎愛伽
淺海歩乃花	吉田貴吏也

▲虹を４つの部分に分けて右上を制作

▲絵の具やクレパスで色つけ制作

▲上真野小学校にて２年生記念撮影（左：たくさんの丸をちりばめた作品・右：虹をテーマにした作品）

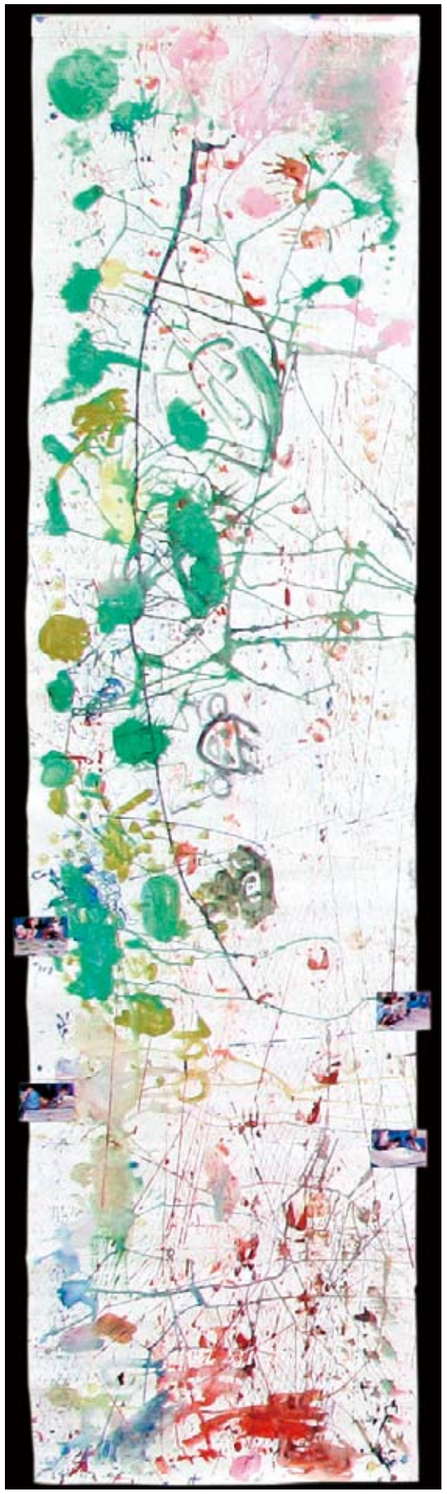
「いろあそび」

▲自画像を描き込んで完成

▲ビー玉に色をつけてみんな 楽しそう

南相馬なかよし保育園
（北町保育所・よつば保育園・聖愛保育園）

いとう こうや	かんの さくや
まつもと みお	きくち しおん
たかむら まさと	たけやま しゅんすけ
さとう いぶき	おかべ りょう
こんの ひな	ふなだ りほ
たかの ここな	あまの あゆむ
たかはし みう	かまだ まゆか
おのだ あいり	はやしざき ともや
なかはら みく	はら せれな
はら らいむ	こくぶん だいち
みうら あおい	はんぐい こうよう
わたなべ しょうた	かしわばら ひかり
うえの そうた	みうら ゆうすけ
くさの まひろ	やつだ だいじ



▲「いろあそび」二科展展示作品

第 96 回二科展 被災地児童作品特別展示

二科会 上真野小学校制作指導（7/6〜7/7）
松室重親・川内 悟・山中宣明・中島敏明
横前秀幸・塙　珠世・須田美紀子

社団法人　二科会
〒160-0022　東京都新宿区新宿 4-3-15
レイフラット新宿 501 号室
TEL 03-3354-6646　FAX 03-3354-4768
公式ホームページ　http://www.nika.or.jp